

資材不足のほか、人手不足を受けた現場の効率化、現場環境の美化も求められている。サ

## 着工減のなかでも施工数拡大

環境パイル(S)工法協会

環境パイル(S)工法協会(石松剣吾会長)は5月21日、広島で第16回定期総会を開いた。石松会長は、同工法の2025年度の施工実績は4746棟で、着工数が減少し

たなかでも前年度を上回ったことや、セブンイレブンに採用されるなど非住宅分野の拡大が続き、この成果で使用材積が過去最も多い

イディングプレカットは、これらの解決に貢献できるものだ」と語った。

水準となったことを示し「26年度は年間施工5000棟を目指していく」と述べた。



石松 会長

同工法は木材を地中に埋めて地盤を補強するもので、兼松サステック(東京都、小泉浩一社長)が普及に取り組んでいる。同協会には同工法の施工会社などが加盟しており、総会では25年度に4社の

新規加盟があり、会員数が68社に増えたことが報告された。また、25年度の主な取り組みとして、同工法が気候変動アクション

新規加盟があり、会員数が68社に増えたことが報告された。また、25年度の主な取り組みとして、同工法が気候変動アクション

には、9月に地盤技術フォーラム2026への出展や宮城で植林活動などがある。また、9月に地盤技術フォーラム2026への出展や宮城で植林活動などがある。また、9月に地盤技術フォーラム2026への出展や宮城で植林活動などがある。